

SSKP

# けやきの杜

Vol. 68

2012年1月号

## 絆をつむぐ一年に



社会福祉法人けやきの杜 理事長 本間浩子

新しい年を迎え、皆様はどのような年にされたいと願ったことでしょうか？昨年の震災からもうすぐ1年が過ぎようとしております。新年になり感じることは、生きている実感というものかと思われまます。自分の生まれ育った場所で、当たり前で生きる。それをかなえるために私たちの先人たちはどんなご苦労をされてこられたことでしょうか。今改めて心に思うところがございます。

ところで、昨年11月には当法人の創立25周年をたくさんの皆様に祝っていただくことができました。改めまして、お忙しい中ご参列くださった方々はじめ、今まで私たちを支えてくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

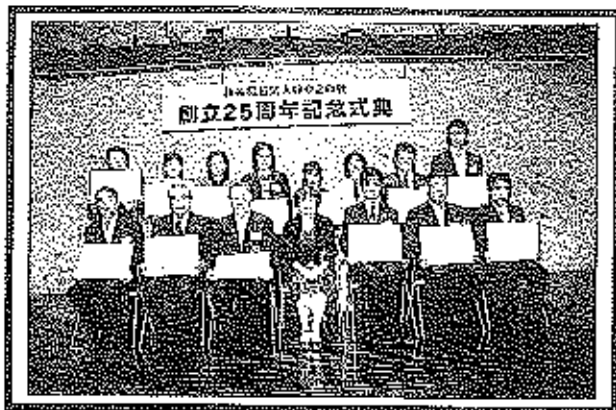
あの式典の法人ご紹介ビデオでも流れましたように、初めて国分寺市の戸倉という町で生まれた法人が、4半世紀を経て大きい法人へと成長してまいりました。戸倉の皆様方の温かいご支援なくして、今日は無かったということだと思えます。小さなお互いの思いが少しずつ重なり合い、大きな絆となりました。これからも私たちは、一つ一つを大事にし、国分寺市という町にしっかりと根付いていきたいと思えます。

先日の式典が終わり職員との打ち上げをしているとき、施設長が『あのブラックライトの作品は、管理職に内緒で〇〇さんが作ったそうです。』というのを聞きました。見えないところもきちんと見ている仲間たち、利用者さんが喜ぶ顔を見たいという思い、それぞれが自分のできることでお互いを支えあってくれているのだと感じました。人が何かをなすとき、必ず誰かが動いてくれているということ。その動きは当たり前のように簡単ではないと思えます。何かを作り上げるために、小さいことでも動いている人がいればこそできることなのだという自覚が皆にないと信頼は生まれません。上に立っている人は、自分の思いを信じて動いてくれる人をきちんと見守り、感謝する。何かあれば、自分が責任をもつ。単純なようですが難しいことです。もしも、今の職員集団が少しでもそうになっていたのなら、この5年はとても意義のある5年だったと思えます。

これからの未来へ向け、一人でも多くの支援者と理解者を増やし、障害のある人が当たり前で、笑って過ごせる社会へ、このけやきの杜が変えていくことができるよう前進していきたいと思えます。そして、この一年も皆様とよい絆をつむげるよう努力したいと思えます。皆様のご支援・ご協力を本年もどうぞよろしくお願いいたします。

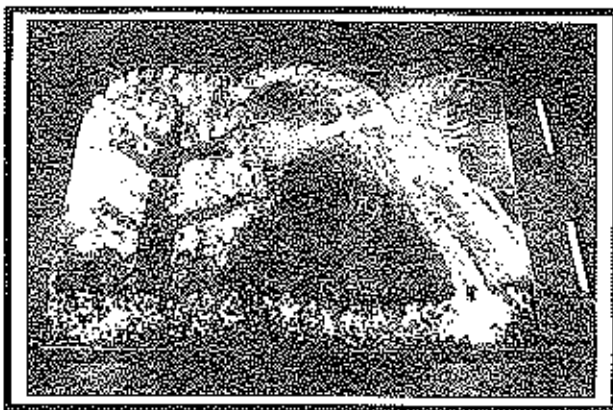
## 社会福祉法人けやきの社

# 創立25周年記念式典・懇親パーティー



↑感謝状記念撮影

創立25周年記念式典および懇親パーティーでは、当法人に長きにわたり多大なるご理解やご協力をいただいたけやきの社に協力する会の皆様、企業様、団体様、ボランティア様等に感謝の意を表して、感謝状を贈呈させて頂きました。25執念の節目を迎えるにあたり、日頃からお世話になっている皆さまへ感謝の意をお伝えすることができましたことを心に刻み、けやきの社として、心新たに一步ずつ邁進していく所存です。



↑カラーでお見せできないのが残念です…

最後に、今回の会場は、けやきの社に協力する会の皆さま、学校法人国際文化理容美容専門学校様に格別なご配慮をいただき、国際文化理容美容専門学校国分寺校のホールを使用させて頂きました。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

平成23年11月19日(土)に国際文化理容美容専門学校国分寺校ホールにて「社会福祉法人けやきの社創立25周年記念式典・懇親パーティー」を開催致しました。当法人が昭和61年に設立し、25周年の節目を迎えることができましたのも、ひとえに皆様方のお陰と厚く御礼申し上げます。

当日は、国分寺市長の星野様、東京都議会議員の興津様、山内様、国分寺市議会の皆さまをはじめとする多くのご来賓の皆さまにご出席いただきました。ご多用のところご出席頂き、この場をお借りして深く御礼申し上げます。



↑美味しい料理に話がはずみます♪

第2部の懇親パーティーは、多摩鼓鑼会様による力強く壮大な太鼓演奏からスタートしました。お寿司やオードブル等のおいしい料理に会話も弾み、和やかな雰囲気のパartyとなりました。

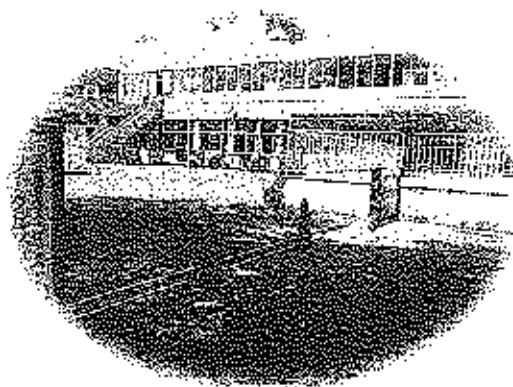
メインイベントの作品紹介では、直径2メートルの大きな布に当法人の利用者ひとりひとりが思いを込めて手形を押し、大きな木に大きな鳥がはばたく絵を作成しました。会場を暗くし、その絵にブラックライトを照らすと、幻想的で神秘的な虹色の光に包まれた鳳凰が飛び立つ姿に早変わりしました。会場内もしばし感動の渦に包まれ、皆さまの心に残った作品となりました。最後は、利用者全員の「それが大草」の合唱で、大いに盛り上がり、楽しいパーティーの終了となりました。

# 社会福祉法人けやきの杜 25周年の歩み

昭和53年		国分寺市手をつなぐ親の会が小規模作業所「けやき作業所」を設置・運営
昭和61年	1月	社会福祉法人けやきの杜設立
	4月	知的障害者授産施設(通所)希望園開設
平成7年	4月	心身障害者(児)訓練事業国分寺市ワークホーム虹開設 運営委託
平成11年	4月	心身障害者(児)訓練事業国分寺市第2ワークホーム虹開設 運営委託 公益事業国分寺サポートセンター・オアシス事業開始
平成12年	8月	国分寺市立第6小学校内に第2ワークホーム虹分室を設置
平成13年	2月	重度知的障害者生活寮マイホーム・むさし開設
	10月	心身障害者(児)ホームヘルプサービス事業ライフネット開始
平成14年	4月	希望園分場開設(5月ホワイト急便光町店開店)
平成15年	2月	第1虹開所 第2虹を国分寺市ワークホーム虹に名称変更
	3月	知的障害者授産施設(通所)ワークセンター・さくら開設
	4月	知的障害者グループホーム マイホーム・やまと開設
平成18年	4月	重度知的障害者グループホーム マイホーム・みかき 知的障害者グループホーム マイホーム・はるな開設
	10月	短期入所施設(ショートステイ)カベラ開設
平成19年	4月	国分寺市障害者就労支援センター開設 運営委託
平成20年	4月	希望園 ワークセンター・さくら 通所授産施設から自立支援法の施設へ移行 障害者ケアホーム マイホーム・あすか開設
平成21年	4月	障害者ケアホーム マイホーム・みずほ開設 ケアホーム・グループホームを地域共同生活支援センター・レハイムに統合
平成22年	4月	単身生活サポート事業開始 ワークホーム虹から国分寺市地域活動支援センター虹へ移行
	6月	カベラにて日中時間預かり事業開始
	11月	マイホーム・はるな移転
平成23年	10月	マイホーム・みかき カベラ 移転



希望園



ワークセンター・さくら

# けやきの杜ツアー&被災地支援

平成23年1月に入職いたしました、高下かおりです。今日まで、様々なことにチャレンジする機会をいただき、楽しく充実した一年目のけやきの杜生活でした。

3.11以降、何か私にも出来ることがあるか?否、何かをしなくてはならないのではないか?との思いを抱える中で、二つの機会をいただきました。一つは全体ツアーの担当者、もう一つは被災地への派遣です。

全体ツアーには、岩手・平泉へ旅行することでの被災地支援。そして被災地気仙沼の第二高松園を訪問し、激励するという支援。二つの思いが込められていました。

気仙沼は震災直後に支援に入った職員によると、今はその時に比べると、だいぶ片付いているとの話でしたが、崩れたままの防波堤など、衝撃的な光景が目に入ってきました。また、第二高松園の利用者さん

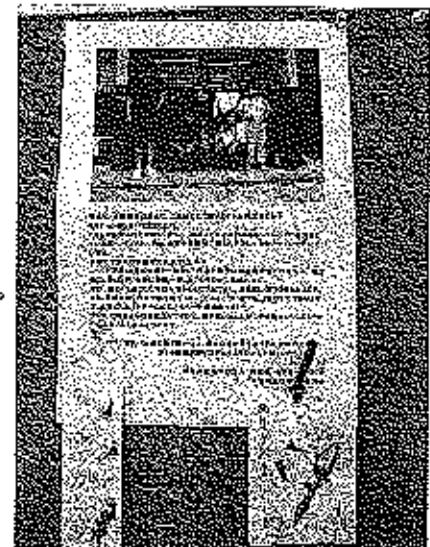
の中にも、家族を亡くされた方もいると聞きました。当日は、事前に希望園とワークセンター・さくら、地域活動支援センター虹の利用者の皆さんから寄せて頂いたメッセージカードや虹の焼き菓子、けやきフェスタの売り上げの一部を義援金として届けました。私たちが歌う♪輪になっておどろう!の歌声に合わせ、最後は第二高松園の皆さんも一緒に歌ったり体を動かしたりと、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。メッセージカードは、ハートマーク・励ましの言葉・明るいイラスト…本当にたくさんの温かい気持ちで一杯でした。



被災地派遣では、陸前高田市の社会福祉協議会が運営するボランティアセンターのスタッフとして、ボランティアさん達にスコップや一輪車などの資材の貸し出し係を担当しました。今でも多くのボランティアの方が陸前高田市を訪れ、重機が入れない場所の瓦礫の片付けなどを行っています。半日余りの作業で集まった瓦礫を見ると、人の持つ力の凄さに感動すると共に、後どれほど作業しなければならないのか、と途方に暮れた気持ちにもなりました。しかし、様々な光景や体験を直接見たり聞いたりすることで、多くを感じ、とても有意義な時間となりました。

陸前高田市ボランティアセンターの合言葉は「つないで陸高、なじよにかすっぺ!」。まだまだ先の見えない中であっても、いろいろな人のいろいろな力を繋いで前へ進んで行こう、そんな思いを込めて、このボランティアセンターのスタッフは、ボランティアさんの乗った帰りのバスを、バスが見えなくなるまで手を振って送ります。最終日、そうして送られた私は、ちょっぴり涙が出るほど感動してしまいました。また陸高に来て何かが出来たら…そんな陸高リピーター=陸高病に私もなってしまったかもしれません。

様々なかたちで被災地支援を行っているけやきの杜ですが、支援した学校や施設から、お礼のメッセージなども届いています。これからもけやきの杜は、ずっと支援を続けていきます。私も、もっと充実した二年目のけやきの杜生活となるように頑張ります!



↑いただいたお礼のメッセージの一つ

## 第4回 こどもけやき作文コンクール

今年も、12月4日(土)に、障害者福祉を進める会が行われました！その中で、今年度のけやき作文コンクールで賞を受賞した作品をご本人に発表していただきました。受賞した8作品の内、3作品をご紹介します。受賞した作品をご紹介します。

### ★希望園賞★ 国分寺市立第八小学校 6年2組 林美雨さん 『その一言が、今ふり返れば宝物』

私は、2年前まで東京の杉並区に住んでいて、国分寺市に引っこしてきました。その前の学校で、ある一人の少女が、私に宝物をあたえてくれました。

とつぜんのある日、車いすに乗ってキラキラした目をしている障害者の少女が、転校してきました。その子は、私の横の席に座っていて、明るい目で「よろしく！」と言ってくれました。次の日、クラスの中でも少しいじわるでみんなから侮がられている女の子が少女のつくえをたたいて、「なんで車いすに乗ってんの？楽そうでもいいね。」とつよい口調で言っていて、少女はすなおに、「生まれつきの障害なの」と言った。するとたちまち大声で笑い出して、少女をパカにするのです。それを聞いて男の子まで笑っています。私はたえ切れなくなり、すぐに教室を出て行き、先生へと伝えに行きました。先生は、次の授業の時間をつぶして少女の事を話しました。その話を聞き、笑った人たちはすぐに少女のもとへあやまりに行き、少女は黒板の前まで重い車いすの手でタイヤを持ち、すすんで行くのです。すると、「私の事を笑ったことは、もうおこってません。これで、みんなが分かってくれたら満足です。私は生まれつきの障害で、よく人前に出ると、笑われたり、からかわれたりしました。でも、私は人に何と言われようと『同じ人として、言った人の方がはずかしいんだ！』と考えています。」私は、この少女に会ってから、「どんな人も同じ人間。体が不自由なより、心が貧しい方が、よっぽどかわいそう」という、私自身の一生の宝物が出来ました。私は一生このことを忘れずに、どんな人にもでも平等に出来るような、りっぱな人になりたいです。

### ★さくら賞★ 国分寺市立第六小学校 5年1組 早川実里さん 『自分の妹はしょう吉を持っている』

私は妹が産まれる前、障害やお年寄りを人ごとに思っていました。

特に障害を持っている人はなんで体が動かなかったり、自分より年上なのにちゃんとしゃべれないのだからと思ったり、みんなとちがう顔をした人たちがたくさんいたので不思議に思いました。お年寄りも、別に不思議に思うことはあまりありませんでした。でもそんなことを思っているうちに妹がとうとう産まれてその時私は嬉しくてたまりませんでした。お母さんと妹が退院して妹が私にやっどできたと思いました。

でも私が理想としていた妹とすこす時間はずがいました。妹はいつだったか覚えていませんがある日とつぜん固まりだしてきました。固まる時全身むらさき色になっていました。私は、最初はたまたまあんなになっちゃたのかなあと思いましたが、そんな日が何日もあったので病院に行ったら、なんと妹は障害を持っていました。私はものすごくショックを受けました。

妹はそのまま大きくなり、ようちえんに似た所へ行くようになりました。私がたまについていくと妹とはまたちがう病気を持った子がいました。その子たちは妹のように体を動かすことができない子もいれば逆に動かせるともいました。その時、私は、友達や兄弟や姉妹などみんな健康な子だったのでいつも妹のことを思い出していましたが、でも健康な子ばかりじゃないと思ったのです。障害の子もいるんだと。

それから私はエレベーターに乗る時、障害の人やもちろんお年寄りが乗ろうとしていたらエスカレーターで行くようにしました。私は世の中不健康な人はいくらでもいる。そんな健康な人ばかりいるわけでもないと思いました。

わたしは妹が産まれていなかったら障害の人やお年寄りの人を健康な人を差別していたかもしれない。妹が生まれてくれて良かったです。

### ★虹賞★ 国分寺市立第五小学校 6年1組 中原貢太さん 『ともにくらしあえる社会へ』

僕は不思議に思う。障害者と健常者にはそんなにちがいはないはずだと。それなのになぜ区別をされるのかが分からない。僕の知人からこんな話を聞いたことがある。

ある日その知人が勤めていた障害者だけの旅行をあつかう会社が、電車旅行をすることになった。障害者はJRでは大人料金の半額になるのだが残念なことにはきっぷ売り場の券売機には障害者用のボタンは用意されていない。それなので、子供用のボタンを押さなくてはいけない。それに障害者の人たちは反発し、とうとう旅行は中止になってしまったと言う。

大人の人たちは、それなりのプライドもあるし、子供用のきっぷを買うなんていうことはできないはずだ。そういう所をもっと考えてほしいと思う。

僕は、こういうこともふまえて障害者と健常者という区別をしないで、どちらとも「人」として見ようと思う。

同じ「人」として障害のある方々を見れば(かわいそう)とは思わないと思う。

昔、この五小に盲目の人が来たことがあった。そのときにその人はこう言っていた。

「目が見えなくなって確かに失ったものはあったけれどそれより得たことの方が多かった。」と。僕はその言葉に感動した。これを聞いて初めて、(ああそんなに障害者と健常者のちがいはないんだなあ)と思った。同じ「人」なのだから。

そういう気持ちを補え付けるためには、まず先程から言っている(かわいそう)という気持ちを無くするのが一番大切だと思う。かわいそうと思うことによって区別が生じるわけだ。

障害者と健常者を同じ「人」と見ることによって区別と差別はなくなると思う。

みかさ・カペラが引っ越しました!



## 新・マイホーム・みかさより

マイホーム・みかさ世話人の三浦です。

マイホーム・みかさはマイホーム・はるな、カペラとともに日吉町の住まいで5年間生活を送って来ましたが、東京都の道路計画により移転先を探して参りました。この度関係する皆さまの多大なるご協力により東元町の地に移転をすることができました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。

新しい住まいでの生活がスタートしましたが、今日も利用者の皆さんの笑顔が絶えないみかさはです。

これからも利用者の皆さんが安心して住み続けることが出来るよう職員一同お手伝いして参りますので、よろしくお願い致します。

マイホーム・みかさ 三浦

## 新・カペラより

10月より吉川に代わりまして、短期入所事業 カペラの担当となりました我部と申します。

引っ越しを機に「どんな所なのか、行ってみようかな」と興味を持ち、宿泊に来て下さるお客様も増え、二階のみかさに負けず劣らず、毎日賑やかな声が響く新・カペラです。お客様が増えたことにより、ご希望通りにならないこともあり、皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳ありません。

まだ新・カペラを訪れた事がないという方は、是非一度見学にいらして下さい。皆様のご利用を、心よりお待ちしております。

ライフネット 我部

新住所：〒185-0022  
国分寺市東元町 1-38-50

マイホーム・みかさ  
TEL 042-329-8401

カペラ  
TEL 042-322-4424(ライフネット事務所)

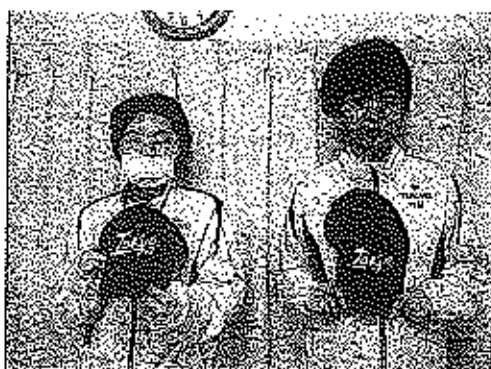


※一階がカペラ、二階がマイホーム・みかさになっています。

## ★山口国体 ボウリング出場★

平成23年10月22日(土)、23日(日)、マイホーム・はるなの寮生である田村真紀さんと俵由起絵さんが第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ山口大会2011」のボウリング部門に出場しました！大会後、2人に感想を聞いてみました。

「全国大会の成績はあまり良くなかったのですが、リベンジして2013年の予選会に出て、全国大会(東京開催)に行けるようにしたいです。(田村さん、写真右)」、「楽しかったです。全国大会に関わった方々、会社・ボランティアの方々、ありがとうございました。(俵さん、写真左)」



↑東京都代表のユニフォーム、かっこいいです!!



家族からも、職員からも離れて、参加した大会で様々な経験を積み、一回りも二回りも成長しているのではないのでしょうか!?目標を持って、何かに挑戦できることはとても良いことです。



## ★ふれあい防災★

平成23年10月29日(土)に戸倉自治会、戸倉消防署等のご協力で「ふれあい防災」が行われました。今年度は、地震発生を想定し、避難・煙体験・消火訓練など様々な体験をしました。

訓練後は、参加したみんなでお餅・とん汁・お新番をおいしく食べました。

## ★『しあわせを運ぶてんとう虫チョコ』フェアトレードチョコレート★

みなさんは『フェアトレード』という言葉を知っていますか?『フェアトレード』とは、発展途上国の農産物や雑貨などを適正な価格で継続的に輸入・消費する取り組みのことです。低賃金労働を強いられる傾向のある途上国での雇用を創出し、途上国の貧困解消や経済的自立を促す狙いがあります。

昨年のバレンタイン、けやきの社では売上の一部がガーナの 카카오生産地で、子供たちを児童労働から守り、教育を支援するプロジェク



トへの寄付になるフェアトレードチョコレートの検品、包装、発送等の仕事を『NGO法人ACE(エース)』からいただけていました。

『NGO法人ACE(エース)』とは、児童労働の撤廃と予防に取り組む国際協力NGOです。インドやアフリカのガーナで、子供を危険な労働から守る活動と日本で市民や企業と協力しながら児童労働をなくす活動を行い、世界中の子供が児童労働から解放され教育を受けられる世界を目指しています。

※参照 NGO法人ACE(エース)ホームページ

<http://acejapan.org/>



↑ACE(エース)から届いた感謝状です。

## ★『70歳いきいき企業100選(2011年版)』に選ばれました★

当法人での高齢者雇用への取り組みが、広く他者の参考となる好事例として選定され、『70歳いきいき企業100選(2011年版)』に当法人の高齢者雇用に関する考え方や取組等について掲載されました。

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構のホームページにPDF版で公開されていますので、よろしければご覧ください。 ※参照独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 [www.jeed.or.jp/news/news\\_70.html](http://www.jeed.or.jp/news/news_70.html)

社会福祉法人けやきの社に協力する会  
協力会費の納入とご寄付ありがとうございます  
(平成23年9月～23年11月分)



【協力会会費】 (敬称略)

〔5口以上〕 鶴日生/芦澤昭子/有限会社井口葬儀店代表取締役井口栄一/有限会社栄組/高橋愛/八木  
冴子

〔2口以上〕 榎あいしょぶ/五十嵐千代子/田中多吉/高山美子/尾又秀了/石渡和実

〔1口以上〕 松本明/本多慶子/石井陸郎/榎さやか企画高橋健一/林章/大和通信機株式会社/竹尾和  
代/出井ミチ子/三宅坂総合法律事務所児玉安司/倉田節子/田中順子/吉廣賢二/影山昭  
夫/榎野口電器国分寺店/加納啓子/古澤幸子

【協力会寄付】 (敬称略) [92,000円] 荒井東治 [10,000円] 秀風土地株式会社代表取締役濱仲幸弘  
[6,000円] 匿名/ダスキーターミニックス八王子東店 [5,000円] 畑石重輝 [3,000円] 宮澤統一

【生活支援事業基金寄付】 (敬称略) [10,000円] 高橋愛 [5,000円] 松本明

○キャップ、プルトップの収集にご協力いただいている皆様 (敬称略)

中華・福忠、水道・下田工業(株)、榎浅見畜産(本町)、柳寿司、天野稔、スナック小藤、ジェジェ(本町)、  
いっばいやっぺグループ(本町他・代表浅見次男)、谷川紀子(本多)、山村富男、佐藤和秋・由紀子(戸  
倉)、星文明(東恋ヶ窪)、タツミ建設(株)永野喜一、国際文化理容美容専門学校国分寺校鈴木隆、上條清  
美・山本美穂子(浜松町・JHA事務局)、西本頼雄・美智子、オフィスマエダネゴ

社会福祉法人けやきの社へのご寄付ありがとうございます

【25周年記念式典寄付】 (敬称略) [50,000円] 荒井東治 [30,000円] タツミ建設株式会社代表取締役関  
口英朗/フィット株式会社代表取締役飯塚英隆 [20,000円] 有限会社IMプランニング代表取締役土手内  
勇介 [10,000円] 山田順子/笠原朋子/国分寺市役所福祉保健部障害者相談室/社会福祉法人万葉の里理事  
長板山賢治/多摩鼓響会代表菅原光朗/東京国分寺ロータリークラブ会長濱仲幸弘/株式会社日産クリエ  
ティブサービス/高久浩一郎/株式会社ダイニチフーズ八洋小平営業所/黒崎整司/有限会社麗屋清水一洋/  
国分寺青年会議所理事長本多貴明/特定非営利活動法人みらい事務局長藤井直/JP資源株式会社東村山事  
業所/リコージャパン株式会社 [5,000円] 特定非営利活動法人国分寺市手をつなぐ親の会理事長神原富美  
子/たまじろの郷/西武信用金庫西国分寺支店支店長本田昭彦/国分寺難病者の医療と福祉をすすめる会代  
表稲垣恵美子/小川恵子/東京身障協力会/社会福祉法人国分寺市社会福祉協議会/特定非営利活動法人国障  
連喫茶/社会福祉法人ななえの里ともしび工房理事長野口進/社会福祉法人ななえの里ともしび工房所長八  
橋宏/塚田ミサ/毛利幸子/社会福祉法人はらからの家福祉会/国分寺市身体障害者福祉協会会長加藤利雄/  
畑石重輝/国分寺市障害者団体連絡協議会会長須長靖夫 [3,000円] 野々瀬悟子/国分寺市役所福祉保健部  
長白石忠志



編集後記

新年あけましておめでとうございます。お正月はいかがお過ごしでしたでしょうか？東日本大震災という大きな  
災害に見舞われてから、初めてのお正月でした。みなさんにとっても感慨深いお正月になったのではないでしょ  
うか？

今回の広報誌は、25周年記念式典・懇親パーティーや被災地への二泊三日のツアー、ふれあい防災とイベ  
ントの多い誌面になりました。

今後も広報誌を盛り上げて行きたいと思っておりますので、ご意見・ご感想等ございましたら、ぜひお聞かせ頂けれ  
ばと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



編集 社会福祉法人けやきの社 広報誌編集委員会

〒185-0003 国分寺市戸倉4-14-7 TEL 042-321-2200 FAX 042-327-0419

e-mail keyakinomori@m2.dion.ne.jp HP <http://www.keyakinomori.or.jp/keyakitop.html>

発行 障害者団体定期刊行物協会(SSKP) 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

SSKP 定価100円 けやきの社 2012年1月発行